

4 研究の構想

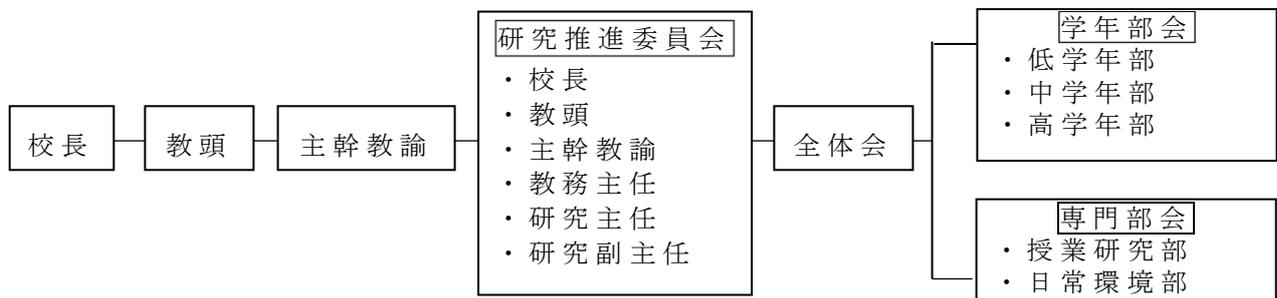
(1) 研究の仮説

仮説 1	体育や保健の見方・考え方を働かせる学習過程や学習活動の工夫を行えば、体育の楽しさや喜びを味わい、運動に親しむ児童の育成が図れるであろう。
仮説 2	児童の実態を把握し、運動・健康に関する環境を整えたり、親しむ機会を増やしたりすることで、体育の楽しさや喜びを味わい、運動に親しむ児童の育成が図れるであろう。

(2) 研究の内容

仮説	視点	内容（◎は後述している内容）
1	① 見方・考え方を働かせる学習過程	◎各学年の系統を考えた年間カリキュラム ◎各学年の単元指導計画 ・魅力的な単元のゴールの設定 ・子どもの問いを連続させる学習過程
	② 見方・考え方を働かせる学習活動	◎1単位時間の授業構成 ◎場づくりと教材開発 ◎学び合いの工夫（ICTの活用） ◎学習カードの工夫 ・運動への多様な関わり（「する」「みる」「支える」「知る」活動）の明確化
2	③ 児童の運動や健康に関する実態の把握	◎アンケートの実施・分析 ・結果の開示
	④ 環境整備と日常活動	◎校内掲示 （各学年体育掲示版・食育コーナー・オリンピック&パラリンピックコーナー） ◎委員会とのタイアップ ◎体育環境の整備

(3) 研究の組織



- 研究推進委員会：研究の方向性、学習構想案の内容検討等は推進委員会で行い、職員の負担軽減を目指す。
- 全体会：理論研、研究授業（大研）、事後研究会を全職員で行う。
- 学年部会：模擬授業、研究会の準備や司会等を中心に活動する。
- 専門部会：授業研究部は主に仮説 1 に関わる内容、日常環境部は主に仮説 2 に関わる内容の活動を行う。

(4) 研究構想図

